

世界遺産へ向けて

～世界遺産フォーラム2009 (vol. 2)～

西村幸夫先生(東京大学教員)は、世界各地の世界文化遺産系、スライドを使って紹介されました。これまでは、ピラミッドやピクニックなど、多くの人が一目見ただけで「立派なものだ」と思えるものが世界遺産となっていました。しかし最近では、樹木や土壌、鉄道、道、堅固な山など、「特別に立派なもの」ではなく、価値あるものの多い世界遺産となっていました。また、人々がその場所を何百年、何千年と生み出していることに賞賛があるといえます。最近にありすぎたことで、大事なものとは何かを知ることに、世界遺産をめぐる足跡の重なる意味があるといえるでしょう。(次号へ続く)



平泉寺こぼれ話

～第7話～

平泉寺と一揆(その6)

「一向一揆と平泉寺との戦い」

加賀国に続き、越前国を支配下におきた一向一揆勢にとって、同国端にある湖島(うみ)を白書に討伐し、湖島(うみ)に東方した景勝と、彼をかくまう平泉寺はどうしても排除したい勢力でした。

天正2年(1574)、2月28日、前記の農民が中心となった一揆軍が景勝(うみ)を襲撃しました。平泉寺からは200～300の僧侶が出て少し抵抗しただけだったので一揆勢が追撃すると、寺から2000の僧侶が逃げだして逃げ残ったと(平泉寺の伝説)は伝えています。この戦いで一揆方は1500人が戦死し、池田川は赤く染まったと(平泉寺の伝説)は伝えています。

一揆勢によって、平泉寺との最初の戦いは大失敗となりました。(次号へ続く)

国史館平泉寺の歴史情報誌

平泉寺かわら版

No. 7 (2009年4月号)

【発行】
国史館平泉寺歴史情報誌編集委員会
【発行日】
平成21年4月23日
【ご意見・ご要望は下記まで】
電話：0770-88-8118(直通)
メール：shinshu@shinshu.co.jp

今号の内容 特集！

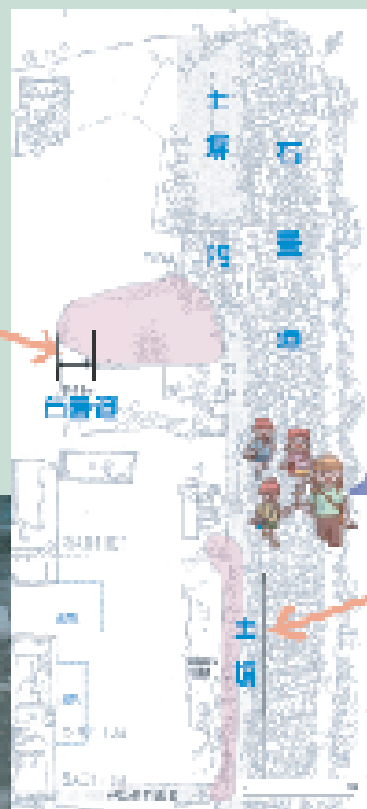
発掘・整備2009

連載

- 世界遺産へ向けて
- 平泉寺こぼれ話～第7話～
- 発掘現場通信

発掘現場通信 門・土堀復元予定地の発掘調査

門を入って左手に石畳道が出てきよ。平泉寺では北谷の北庭院や南谷の西蓮院でも石畳のなかで建物へと続く石畳道が見つかっているんだ。



坊院の内側にも石畳が見つけられました。この石畳のうえには土堀が立てられていて、坊院のなかで道から見えなくなっていると考えられています。



石畳のなかで見つかった石畳道



土堀内側の様子



寺の古き木の様子

4月12日早朝より平泉寺白山神社で春の一日清掃が行われ、区民の皆とボランティアあわせて約200名が清掃活動に参加しました。境内から下馬大橋までの境内全域に落ちた落葉を取り除いていくと、その下からは美しい苔と石畳道が姿を現しました。

作家の河津蓮太郎氏は『街道をゆく』のなかで、この美しい景色を平泉寺区民が守ってきたことに感嘆しています。これからも、多くの方の協力により平泉寺の美しい風景が守り伝えられていくことを願っております。



清掃前

清掃後

平泉寺総合整備最前線！～その7 発掘・整備2009～

平泉寺の考古整備活用住証事業も5年計画の2年目を迎え、いよいよ本格化してまいりました。今回は、今年度の半築発掘調査と整備工事の予定について特報します。

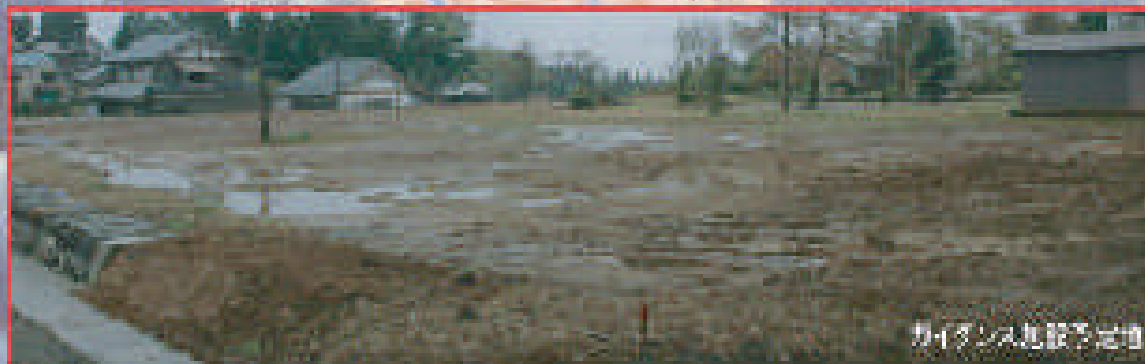
●水量調節の工事

(西園寺及び下の園地整備工事)

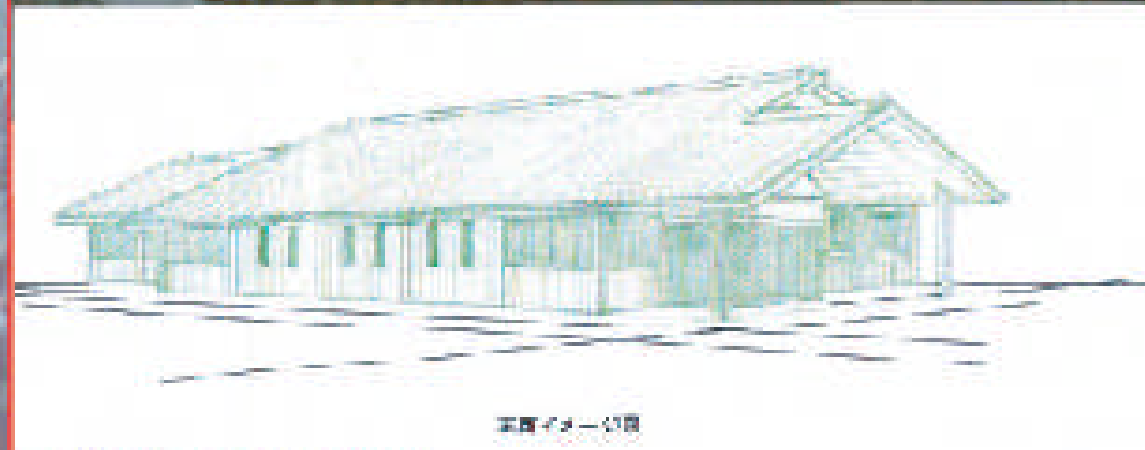
西園寺(奥山の延徳池)から集水する湧出る雨水が、あふれぬように、水溜の堰を造り、築く跡の下に、石を積み重ねたりします。おおよそ 60m、すでに発掘調査が終わり、準備されています。

また、雨水を人用の時に「お湯」として利用して、水がゆっくりと下流に流れるようにします。

工事は7月～11月頃を予定しています。



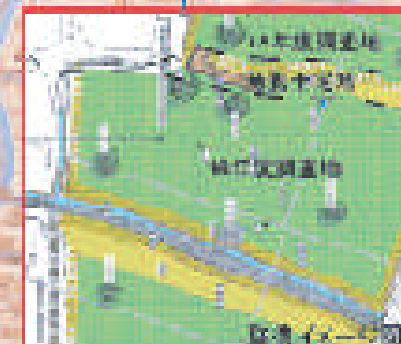
ガイダンス施設予定地



計画イメージ図

●ガイダンス施設の設計

平成24年度発掘予定地のガイダンス施設の設計を行います。平泉寺の歴史をわかりやすく伝えるだけでなく、平泉寺区の方や観光ガイドと平泉寺を訪れる人々のゆめを伝える場としての利用も考えています。設計は7月～12月頃を予定しています。



●石垣の発掘調査、僧坊の整備工事

平成19年度と18年度に調査を行った区画内にある石垣を発掘調査します。今見えている石垣の裏側に中世の石垣が埋まっていると予想されます。整備工事は、平成16年度に調査した坊院(僧坊の園地)を低く築いて石垣を築造する計画です。

発掘調査、整備工事ともに7月～12月頃を予定しています。